

汚れ防止に消臭機能をプラス ダブルの効果でキープクリーン

1 汚れを防いで、お掃除らくらく

- 壁紙の表面に消臭剤入りのPP(ポリプロピレン)フィルムをラミネートしています。PPフィルムは水汚れに特に強い特長がありますので、洗面・水廻りには最適です。

2 生活悪臭を消臭

- トイレ、生ゴミ、ペット、タバコなど様々な悪臭を消臭します。
- シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドの低減に効果があります。

3 抗菌効果で清潔・快適

- 壁紙表面のPPフィルムは抗菌効果に優れているため清潔な環境づくりに最適です。

汚れ拭き取り性能

様々な汚れに対して、**高い汚れ拭き取り性能**を発揮します。

| 汚れの種類 | 拭き取り剤 | ダブルクリーン (PPフィルム) | タフクリーン (クリーンコート) | トップコート壁紙 | 一般ビニル壁紙 |
|-------|-------|---------------------|---------------------|----------|---------|
| コーヒー | 水 | ◎ | ○～◎ | △ | △～× |
| しょうゆ | 水 | ◎ | ○～◎ | ○ | △～× |
| 水性ペン | 中性洗剤 | ◎ | ○～◎ | ○ | △～× |
| クレヨン | 中性洗剤 | ○ | △～○ | △ | × |

<試験方法>

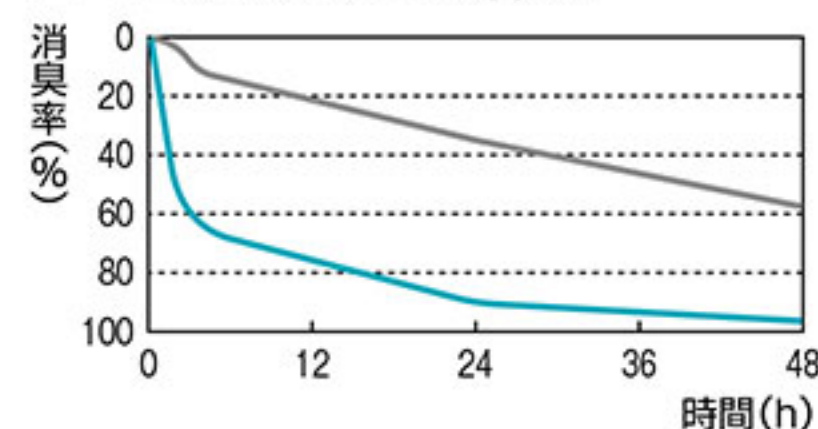
壁紙表面に汚染物を付着し、24時間後に拭き取り剤で拭き取り、判定基準に従って目視で判定。

<判定基準>

- ◎: 汚れが残らない
- : ほとんど汚れが残らない
- △: やや汚れが残る
- ×: かなり汚れが残る
- ××: 汚れが濃く残る

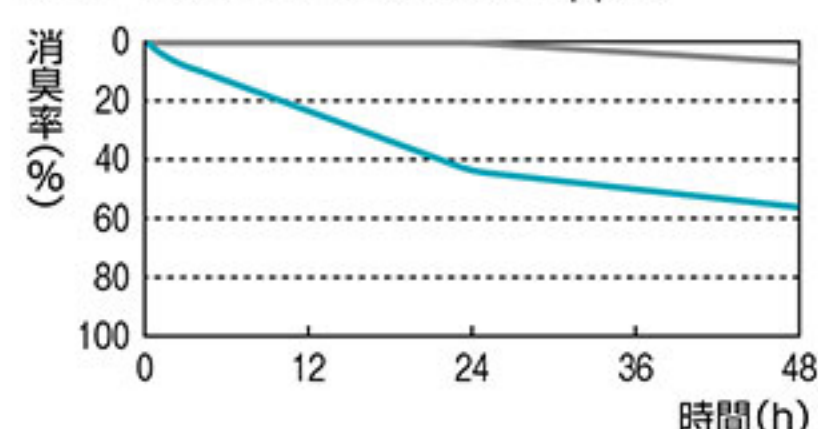
消臭性能

アンモニア(初期濃度: 200ppm)



アンモニア…汗、トイレ、ペット、生ゴミの臭い

アセトアルデヒド(初期濃度: 14ppm)



アセトアルデヒド…タバコの臭いの代表物質

<試験方法>

壁紙サンプルを容器に入れ、悪臭成分を注入。所定時間後、悪臭ガス成分の残存ガス濃度を測定。比較対象として、サンプルを入れず空(グラフ中では空ブランクと表示)で悪臭成分を測定。

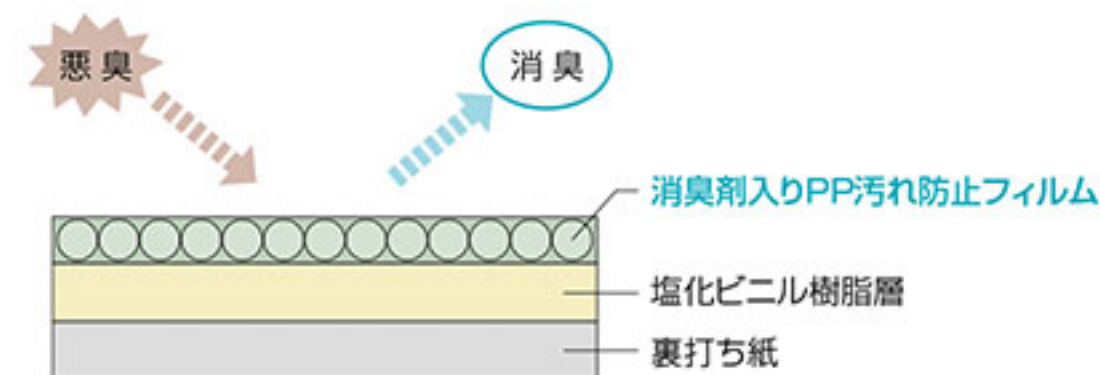
※データは実測値であり、保証値ではありません。



おすすめ使用場所

- 水汚れや臭いが気になる洗面廻り・トイレ
- 飲食物の汚れや臭いが気になるLDK

壁紙の構造(イメージ図)



■使用上のご注意

- フィルムラミネート品のため、一般ビニル壁紙に比べ施工難易度が高く、施工費が増える場合があります。
- 汚れ防止フィルムによるツヤがありますので、天井への使用は光の加減で下地が目立ちやすく、不向きです。
- 汚れ防止は、汚れが浸透しにくく落としやすい機能であり、汚れが付かない機能ではありません。汚れの種類や放置時間によっては除去できない場合があります。
- 消臭機能は臭いを完全になくすことを保証するものではありません。効果は環境によって異なりますが、5～10年間程度とお考えください。美観維持のためにも5～10年位での張替えをおすすめします。(消臭機能は、エアリフレタイプ・LV-1543～1603とは異なります。)

※機能詳細については、付録の別冊資料をご覧ください。

❗ 施工上のご注意

- **低温時は室内を暖めて**
室内を暖かくすることがきれいな仕上げのポイントです。5℃以下の環境では糊の接着力が弱くなり、フクレや施工不良の原因となります。また、施工効率が下がります。
- **モルタル下地にはシーラー処理を**
アクによる変色やフクレを防ぐため、必ずシーラー処理を行ないましょう。特に低温時にはフクレがおきやすくなります。
- **接着剤と養生・オープンタイム**
・下地との接着強度アップのためボンド配合の接着剤(6～7割希釈)をご使用ください。
・接着剤塗布後、20～30分程度うませ時間をとってください。冬季時には後伸びによるフクレを防ぐため少し長めにとりましょう。
・表面のフィルムが折れないようにすることがきれいに仕上げるポイントです。接着剤塗布後は、大きなたみ、上積は避けてください。
- **なで付け注意**
特に、モルタル下地ではプラスチック製のヘラを使用し、ていねいに繰り返しエア抜きを行なってください。
- **糊の拭き残し**
糊残りがなく、きれいに拭き取ることがきれいな仕上げのポイントです。付着した場合は、きれいな水を使用し濡れスポンジ等でていねいに拭き取り、更にきれいなタオル等で乾拭きしましょう。汚れたスポンジでは糊を拭き取らずに逆に伸ばしてしまうこととなりますので注意が必要です。
- **下地コーナー材は穴あきタイプを**
下地コーナー材は、穴あきタイプが有効です。穴あきタイプ以外では接着剤が乾燥せず、壁紙が浮いたり、カビ発生の原因となる場合があります。ただし、穴あきタイプをご使用の場合でも使用環境や施工状況によっては、壁紙の浮きやカビが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。